

# 歯周病と全身疾患〜特に関係のある糖尿病について

土井 英暉 (東成区開業)

歯周組織は歯を支える歯肉、歯槽骨、歯根膜、セメント質の4つの組織で成立しています。歯周病はプラーク(細菌の塊)が原因でその歯周組織全部が破壊される病気です。歯周病を放置すると慢性疾患の状態となり、歯周ポケットが深くなると酸素の薄い所を好む嫌気性菌が増え歯周組織の破壊力が増大すると共に、更に怖いのは血管からの血流を介して、嫌気性菌、細菌が生産する毒素、炎症性の「TNF-α」等々、歯周病の影響が全身に及んでいくことです。

糖尿病については、砂糖や澱粉等の糖質は唾液中のアミラーゼ、涙液中のアミラーゼなどの酵素の働きで分解されて、ブドウ糖となって吸収されます。このブドウ糖が唾液から分泌されるインスリンの働きによって燃焼し、エネルギーとして利用されます。しかし、インスリンが十分に分泌されなかったり、分泌されてもうまく作用しなかったりすると、余ったブドウ糖(血糖)が血液中に溜ります。こうして糖尿病が発病します。糖尿病になると、糖質の代謝が低下し糖質をエネルギー源として営む各組織の活動が影響して合併症を起こすことが恐ろしい。

生活習慣病で基礎疾患でもある歯周病、糖尿病の多くの患者さんは生活習慣の管理がうまくいかなかったりしています。歯周病は国民の80%以上の方が罹患し、又、糖尿病も増える一方であるというのが現状です。初期治療が大事であり、患者さんに合った環境、それに応じて生活習慣の改善に努力していただき、個別的に具体的な診療プランを提示して指導し、目的を達成することです。最後に日歯の基本的な考え方で健康寿命の延伸を目的とされていますが、糖尿病、歯周病も初期診療の予防面で制度上での評価されて更に公的機関や市民団体等々の協力が、得られれば大いなる成果が期待できると思っています。

# 歯科パノラマフィルムの簡易デジタル化

西川 眞二 (東大阪市開業)

歯科医院でのIT化としてデジタルレントゲンが普及しつつある。しかし、デジタル化される以前に撮影されたレントゲンフィルムはいわゆる非デジタルデータであり、

また、デンタルフィルムの場合や、MRIやCTなどの大判フィルムのスキャンについても併せて紹介する。

# 大東市介護予防事業の口腔機能向上教室に参加して

貴島真佐子 (東大阪市・勤務医)

平成12年4月より介護保険制度が施行されたが、介護給付費は年々増大する一途をたどる傾向であった。5年後の保険制度見直しにおける介護保険受給者数の内訳をみると、要支援および要介護1と認定された比較的低年齢の高齢者が大幅に増加し、介護認定を受けた人の約半数を占める結果であった。

この介護保険給付費を抑制すべく、平成18年度施行の介護保険制度においては、予防重視型施策

# 歯を抜かない歯列矯正治療

小山 栄三 (枚方市開業)

日本人は20世紀の中頃までの長い歴史のなかで、常によく噛んで食べてきました。この長い歴史を保ってきた噛む習慣がいま失われています。

その主な原因は急速な食生活の変化です。おいしい、食べやすい、よく売れるものが追求されてきました。しかしその結果は、子供の歯並びに著しい変化が起きています。いま小学生の2〜3割が歯列不正とみられています。顎骨の発育不良が目立っています。前歯部で

大すればよいではないか。今回は3症例で、その結果を発表します。当初は試行錯誤しながら行いましたが、歯列矯正用のプレートが良く適合せず、また治療期間も相対的に長くなりました。しかし、歯列矯正の時期を適正に判断しつつ、早期

# 口腔機能向上を目標とする自主グループ「8020メイト」育成の取り組み

服部 真代 (堺市・歯科衛生士)

はじめに 堺市中保健センターでは、従来、歯周病予防を目的として「歯周病セミナー」事業を実施してきた。平成16年度より「セミナー」参加者を通じて家族・地域住民へ広く知識や予防法を普及させることと「口腔機能全般の向上」を目的に、事業名を歯周病セミナーから「8020講座」と改名し、事業を実施している。この講座修了者の中から、地域への啓発活動が可能な参加者を市民ボランティア「8020メイト」として登録した。今回、「8020メイト」が自主グループとして、地域で活動を広げているので、ここに紹介し、今後の展望について報告する。

I 組織化の経緯 「8020講座」は2か月間の間に3回の連続コースとして毎年実施している。内容は右表のとおりである。平成18年12月現在、登録者は36名となった。「8020メイト」は、その創立にあたり、以下のような活動の3本柱を設定した。(1) 口腔機能向上を目標とする自主グループの育成、(2) 歯周病予防に関する学習会の開催、(3) 「8020メイト」間相互の親睦活動報告

平成16年度: 「健口サンバ」の作詞、踊りの振り付けと練習に専念。(舌、顔面、飲み込み体操などが踊りのなかに含まれる。)

平成17年度: 中区健康フェスタを皮切りに、保健センター、老人福祉センター、婦人会等で「健口サンバ」を披露しながら歯周病予防啓発活動を展開、普及活動用のパネル・ユニホーム・ロゴマーク・手帳なども順次作成していった。

平成18年度: 堺市内において健康づくりを目的とした市民団体「さかい健康づくり推進委員会」に歯科分野としては初めての加入をした。定例会を月2回開催し、親睦会は2回開催した。「健口サンバ」普及活動は4月から12月までの8か月間に9回、学習会を4回実施した。内容は、歯垢染色による歯みがき実習、

ライオン明石工場見学、ビデオ学習、公開学習講座「知っておきたい歯医者・医者の選び方・かかり方のこと」の開催であった。

III 保健センターの支援と今後の展望 前記の自主活動を支援するために、保健センターは、「健口サンバ」の収録、カセット編集、DVD作成に協力した。また、活動場所の提供、学習会や講演会の講師の相

談、他の自主グループとの交流の調整などを行った。今後さらに自主グループ活動が拡大・発展していくためには、他区の保健センターに働きかけ、同様の自主グループの育成をはかることが必要と思われる。また、地域のスパー、コンビニ、薬局などに口腔機能向上のための、賛助会員の協力を依頼していくことも検討している。

【対象者および周知方法】①40〜64歳で、基本健康診査受診者(計7,951名)のなかで25% BMI > 30かつ5.5% HbA1c > 6.0で未治療者62名に郵送案内。(参加者6名)

②広報にBNI TV びと掲載(参加者6名) ③その他。(参加者5名計17名(男性1名、女性16名))

【対象者の特性】メタボリックシンドローム該当者は13名(76%)、高血糖者は14名(82%)、インスリン抵抗性のある者は3名(17%)いた。

【内容】①健診結果から自分の身体に起こっていることを知る。②糖の代謝経路を知り、具体的にイメージできる。③身体と食生活・運動を結びつけ実践する。の3点を学習課題として設定した。グループワークでは、

# メタボリックシンドロームの視点に立った生活習慣病予防教室の実施報告

吉尾 素子 (堺市・保健師)

【はじめに】肥満かつ高血糖のハイリスク集団を対象に、住民自身の身体に關連づけて理解すること

の中で起こっていることと健診の結果とを具体的にグループワークでは、参加者自身が、病状を参加者自身の確に捉えることにより、食生活・運動の見直しができ、食事の改善および継続して運動に取り組めることが分かった。

「隠れ糖尿病」を見落とさない! 河盛隆造 食生活2007.4 p.16-p.22

# 分科会発表演者一覧

題・所属・報告者	
「15分で語る子どもの食育」	浪速区・歯科 豊田 裕章氏
「より少なく食べるはより良く生きる」	泉大津市・内科 高橋 典章氏
「遊び感覚で取り組むバイキングダイエット」	城東区・内科 たかもと診療所看護師・中沢 和子氏
「男性型脱毛症 (AGA) の一症例」	摂津市・皮膚泌尿器科 森 昭氏
「腹部の皮疹を主訴に来院した3例」	北区・皮膚科、内科 谷口 恭氏
「メタボリックシンドロームの視点に立った生活習慣病予防教室の実施報告」	堺市・保健師 吉尾 素子氏
「よりよく食べるは よりよく生きる——噛めば体が強くなる」	枚方市・歯科 小山 栄三氏
「電子カルテ導入後のHbA1cの変化」	港区・みなと生協診療所・看護師 中村 梨香氏
「パワーリハビリテーション導入について」	守口市・内科・橋本クリニック 高木氏、船津氏
「女医が第一線で働き続ける為に」	泉大津市・歯科 高橋 靖子氏
「腎性貧血の在宅管理について」	東大阪市・内科 岡本 雅之氏
「内臓脂肪量と頸動脈プラークの関連」	港区・みなと生協診療所 倉澤 高志氏
「大東市介護予防事業の口腔機能向上教室に参加して」	東大阪市・歯科 貴島真佐子氏
「口腔機能向上を目標とする自主グループ『8020メイト』育成の取り組み」	堺市・歯科衛生士 服部 真代氏
「歯を抜かない歯列矯正治療」	枚方市・歯科 小山 栄三氏
「歯科パノラマフィルムの簡易デジタル化」	東大阪・歯科 西川 眞二氏
「歯周病と全身疾患〜特に関係のある糖尿病について」	東成区・歯科 土井 英暉氏
「ファシリテーターを含めた経営会議の有効性について」	東淀川区・清水クリニック・清水聖保氏、事務長・徳山直成氏、徳山千洋氏
「医事課業務の問題点と対策」	忠岡町・外科・安藤医院医事課 草野 美穂氏
(ポスターセッション)「上顎前歯部における抜歯即時インプラント(HAコーティングインプラント)の有効性」	淀川区・歯科 林 哲平氏
(ポスターセッション)「医科歯科連携の現状: 2006年度大阪府歯科保険医協会の会員意見調査より」	松原市・歯科 藤井佐都樹氏